

平成23年度 学校経営方針

江戸川区立東葛西小学校
校長 江藤 勝久

はじめに

社会の変革、不安が進む中、学力問題や学校の安全対策等をはじめとして国民の教育への関心も今まで以上に高まっている。私は、このような時代だからこそ児童にとって、学校は「最も安心で、安全な場所」であり、「尊敬される教師に出会う場所・優れた友達に恵まれる場所・正しい信念を持つように導かれることを実現する場所」でなければならないと考える。

教職員は、このような学校づくりを担い、児童一人一人に、心豊かに逞しく生きる力や新しい時代を拓く力を育むことが大切である。そのために、教職員自身が研鑽を積んで広い視野や豊かな心を培い、人間として強く生きる希望を持ち、教育者としての意欲と使命感を持ち続ける学校を創造する。

【学校経営の基本方針】

開校10年目を迎えた本校の建学の精神と校風を継承しつつ、地域に根付き、未来に開かれた新しい教育の創造をめざした学校経営を推進する。

その基盤を、次の4点におき、児童・保護者・地域社会に開かれた「共に生き、共に輝ける学校」の経営に努める。

【学校経営の重点】

- | |
|---|
| ①新学習指導要領の趣旨を生かし、教育課程を完全実施し、本校の特色ある教育の確立と推進を図る |
| ②確かな学力向上のための授業、協働体制の生活指導の工夫と改善と定着を図る |
| ③保護者・地域と共に学び合い、高め合う学校の創造を推進し、発展させる |
| ④教職員の意欲と専門性を生かした指導体制を構築し、確かな成果を上げる |

1. めざす児童像（知・徳・体・情操の調和のとれた人間形成＝21世紀に生きる人間像）

やさしく やりぬく 元気な東葛西小学校の子

やさしい子	・立場や気持ちを考える	・他人のためにできることをやる	・物や生き物を大切にする
やりぬく子	・集中して聞く	・自分の言葉で表現する	・自ら学び追究する
元気な子	・挨拶ができる	・汗して働くことを喜ぶ	・体づくりに挑戦する

2. めざす学校像

輝きとぬくもりのある学校

- ・児童にとって - - - - - 毎日、新たな気持ちで登校でき、自己実現が可能であり、楽しく・安全に過ごせる学校（学んで良かった学校）
- ・教職員にとって - - - - - 教育への情熱が大事にされ、実践が認められる学校（勤めて良かった学校）
- ・保護者・地域にとって - - - - - 子どもを安心して任せられ、誇りをもって他に紹介できる学校（預けて良かった学校）

3. めざす教職員像

- ・一時間一時間の授業を大切にする教職員
- ・すべての児童に愛情を注ぎ、厳しさと温かさをもった人間性豊かな教職員
- ・児童に感動・やる気・達成感・成就感を味わわせる教職員
- ・専門性を磨き、研究で切磋琢磨し、よさを発揮できる教職員
- ・社会人として広い視野を持ち、明るく心身共に健康な教職員

【具体的方策】

1. 特色ある教育活動の確立

- ・全教職員が教育課程を熟知し、共同性と各自が責任を持って、ねらいをきめて実践する。

いつでも、どこでも、だれもが教育課程を

施設や環境を生かした教育、教師の研究・研修、人材活用、清潔・安全・利便性のある環境

2. 健全育成活動の推進

- ・非行防止や犯罪から身を守る教育（交通安全教室、セーフティ教室、薬物乱用防止教室、安全・安心マップの活用）など、学校応援団（保護者・地域）との連携の中で子どもの規範意識や自立心を育む。
- ・子どもたちの生活リズムの向上を図るために、「生活リズム向上委員会」の設置や「生活リズム向上講座」等を実施し、家庭・地域に啓発していく。生活リズム調査は学期1回（5、9、1月）
- ・不登校やいじめなど、子どもたちを取り巻く課題に対応するため、互いに認め合い、共に学び合う学校づくりを推進する。（教育相談研修会3回、生活指導研修会2回、スクールカウンセラー等）
- ・子どもたちが生涯を通じて主体的な健康づくりが実践できるよう、健康や体力に関する意識を高め、健康を保持増進する資質や能力を育むとともに、体力の向上を図るため、体育・健康教育の充実を図る。（都・区主催スポーツ講座の開催、トップアスリートの招致とスポーツ教室の開催）
- ・図書館ボランティアによる読み聞かせを充実させ、情操教育の充実と発展を図る。

3. 「確かな学力」の向上

- ・学年・学級経営案及び週案簿に基づいた、毎時間の計画をしっかりとて、「分かる授業」を実践する。週毎の指導計画案、授業時間・時数の確保一週案簿の提出、授業時数集計による調整
- ・P lan → D o → C heck → A ctionを常に意識し、日々改善を目指し、具体的及び効果的な実践（指導と評価の一体化図った指導・評価計画）を推進する。児童の客観的な実態把握に基づく授業の展開
- ・学力向上プランに基づき、少人数指導、スキルタイム、チャレンジタイム、読書の時間（火・木・金）等基礎を培い、きめ細かい指導の充実を図る。一人一人の伸びの認め励ましー定着度のアップ（底上げ→定着→発展→改善）
- ・様々な活動を通して、自分の考えをわかりやすく表現し、互いの気持ちを伝え合うコミュニケーション能力を育てる。伝え合う力の定着
- ・これまで築き上げた共生を大切にする教育活動（環境教育、体験活動、交流活動）を更なる充実を目指す。自己有用感の育成（すべての児童に活躍の場を） 言語・施設等

4. 共通理解をもとにした生活指導体制の確立

- ・教えるべき事項は、全教職員が共通理解した指導方針のもと、しっかりと教え、指導し定着させる。（着帽・あいさつ・清掃・あとしまつ・時間励行・ことばづかい・廊下歩行、下校後の遊び等）
- ・生活指導朝会（金）の充実を図り、日々の指導を効果あるものにし。（悩みは内に秘めない。問題の共通認識が指導の第一歩）
- ・全教職員でしっかりと児童を把握し、児童の心の揺れ、あれを見逃さない指導を徹底する。（全員名札の着用で名前と呼ばれるうれしさ）
- ・スクールカウンセラー、教育相談室、児童相談所、地域関係諸機関と連絡を密にし、生活指導の充実を図る。（協働の強さー児童のために）

5. 開かれた学校

- ・学校情報（授業公開、保護者会、学校行事、学校だより、各種委員会等）を積極的に発信し、学校を理解する場とする。
- ・学校評議委員会をより充実させ、外部評価と内部評価を実施し、知恵を出し合い、共に学校を創る。
- ・学校応援団（地域・保護者）を組織し、地域の学習材化、人材活用等、学び合い、高め合う教育活動をする。
- ・学校保健委員会や学校給食運営委員会の充実を図り、心と体の健康づくりを推進する。

6. 校内研究の充実

- ・研究実践を進め、児童の変容（成就感の表出）を通して、日常の教育活動の”実”を上げていく。
- ・教職員が学ぶ原点は学校であることを再認識し、校内研修を教職員の共同研修の場ととらえ、互いに切磋琢磨する土壌を築く。
- ・児童一人一人のコミュニケーション能力をはぐくむ外国語活動を推進する。
- ・児童一人一人の豊かな心と健やかな体の育成のための指導を充実させ、体力の向上と健康的な生活習慣を形成することを中心に生きる力を育むことを追究する。（スポーツ教育推進校？）

7. 組織が機能する学校

- ・一人一人の教師が個性を生かし、協働する。フットワーク・ネットワーク・チームワーク（報・連・相・確）互いに教え合う雰囲気を作りながら、良さを生かす相互補完・教師の自己有用感

8. 自分を変える

- ・自己申告（キャリアプラン）を活用し、「夢」「目標」「やりたいこと」を形にする。校内・外の研修会に積極的に参加し自己を磨き、夢やロマンを語り合う勇氣

9. 教育公務員の使命と自覚

- ・毎月の服務事故報告をもとに、職員朝会や職員会議で事故防止研修会を実施し、服務規律の厳正に努める。

平成23年度 教育課程届出

第1表

1 教育方針

(1) 教育目標を達成するための基本方針

- ・江戸川区の「共育・協働」の理念のもと、保護者・地域と連携し児童を「一緒に育てる」学校応援団を発足させ、児童の社会性をはぐくむ教育を推進する。
- ・支援教育を充実させ、心身に障害のある人と共に生きる心や、互いに学び合う態度を育てる。

(2) 本校の教育の特色

○豊かな心の育成

- ・週3回の朝読書の時間と8月の読書週間の設定により、よりよい読書習慣を身に付けさせ、豊かな感性や情緒をはぐくむ。また、保護者や教員による読み聞かせの時間を取り入れ、本を読むことの楽しさを味わわせる。

○健康な心と体の育成

- ・体育朝会を定期的実施し、健康な体づくりを目指すとともに、生涯にわたって運動に親しむことができるように体育的活動を工夫する。
- ・児童の望ましい基本的生活習慣の育成を目指し、「早寝・早起き・朝ご飯」の励行を呼びかけ、生活リズムの向上と定着を図る。

○地域で学ぶ

- ・葛西の町を支える地域の人材をゲストティーチャーとして招いたり、地域の文化や歴史、産業、施設を教材として積極的に活用したりする中で、人々の生き方や地域の良さに目を向けさせ、郷土を愛する心を培う。